

6回生 必修科目「英語表現Ⅱ」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語表現Ⅱ	単位数	2単位
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。				
教科書	MAINSTREAM English Expression Ⅱ（増進堂）		副教材	Vintage Navigator（いいずな書店） 英文法・語法 Vintage 3rd Edition（いいずな書店） 総合英語 FACTBOOK（桐原書店） 大学入学共通テスト10分リスニングプリント（数研出版）	

1 学習の目標

- 習熟度に応じた英語運用のアクティビティを通し、英語を実際に使える訓練をする。
- コミュニケーションツールとしての英語を駆使して、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

英語運用の4技能の目標

聞くこと	○主題のはっきりした内容について、重要な情報を理解することができる。 ○身近な話題について、自分の意見と比較しながら他人の意見を聞くことができる。
話すこと	○自分に馴染みのある話題について英語で話し合ったり、出来事などについて英語でやりとりしたりすることができる。 ○相手の質問に対して、ある程度まとまった内容を適切に話すことができる。
読むこと	○複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ○英語で書かれた内容について、自分の意見と対比しながら読むことができる。
書くこと	○自分の興味ある話題やものに対して、読み手を意識しながら意見や感想を発信することができる。 ○自分の意見に対して、いくつかの理由を列挙して書くことができる。

2 学習の方法

(1) 予習について

ただ授業を聞いているだけでは、英語を書いたり話したりはできるようになりません。自分の中に、表現できる「型」をたくさん持つことが、英語を書いたり話したりする基本になります。Vintage Navigator、FACTBOOK等を使って、ポイントとなる文法事項について、予習をして理解を深めてきてください。授業中の説明は少なくしますので、しっかりと予習してきてください。また、MAINSTREAMの各タスクも予習しておきましょう。

(2) 授業について

『Vintage Navigator』を使って英語をインプットし、作文ができる力を養う授業と、『MAINSTREAM』を使って、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、エッセイライティングなど、アウトプットを行う授業をバランスよく配置していきます。『Vintage Navigator』を使う授業と『MAINSTREAM』を使う授業ではやり方は異なりますが、インプットした英語を実際に使いながら、より実践的な英語能力を身につけてもらいます。

(3) 復習について

習った事項を実際に使えるレベルまで高めるために、基本例文を暗唱したり、自分が伝えたい情報や考えなどに置き換えて表現できるかなど、確認してみてください。

〈学習アドバイス〉

学習した内容について意見を交換したり、書いてみたりすることで、発展的な力を伸ばすことができます。受け身で学習するだけでなく、教科書のトピックから見聞を広げ、教科書を超越する力をつけましょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。主に、アクティビティへの参加・協力や、課題の取り組み、授業で扱われた題材への興味・関心で評価します。
②表現の能力	外国語を用いて、情報や考えなど伝えたいことを話したり、書いたりして表現する。主に、英語を用いて話したり、書いたりする能力で評価します。
④知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともにその背景にある文化などを理解している。主に、文法や英語の基礎知識が身につけているか、授業で扱われた題材についての周辺知識を理解しているかで評価します。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

評価材料 観点	定期考査	Grammar Test	Speaking Output	Writing Output	Other Activities
①関心・意欲・態度	○ 授業中のアクティビティに関する問題、自由英作文等		○	○	○
②表現の能力	○ 英作文、語句整序、自由英作文 等		○	○	○
③知識・理解	○ 文法語法問題、教科書題材の背景知識等に関する問題、リスニング等	○		○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- 頭に入っている英語の「型」を用いて、英語を話したり、書いたりすることがこの授業の目的です。受け身になって「教えてもらおう」という態度ではいけません。授業は英語の基礎トレーニング。ヒットをたくさん打てるようになるために素振りを繰り返したり、トスバッティングを行ったりするのと同じことです。Navigator でベーシックな単文を作る練習をして、MAINSTREAM でそれを応用していきます。とにかく英語を使ってみようという態度で授業に臨んでください。
- 定期考査では、主に文法ベースの問題、リスニング、英作文等の問題を出題します。そのほかにも授業中にパフォーマンステストを行います。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体を持ち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着を持ち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	資質・能力
4	Navigator 第9章	接続詞を中心に学習	①ペアワークやグループワークに積極的に参加し、意欲的に英語で意見を述べようとしている。	1 学期中間考査	ABCD F
5	MAINSTREAM II Part 4 Lesson11~14 言語	ディベート ピンポンディベート 相手の意見を引用した主張 分詞構文、譲歩表現 無生物主語 it の用法	②分詞構文、譲歩表現、無生物主語を用いた英文の内容を読み取り、紹介し、書いたりできる。 ③接続詞から前後の文のつながりを理解し、使用することができる。		
	Navigator 第10章	前置詞を中心に学習	③各種の前置詞を学び、文脈からイメージをつかむことができる。		
6	Research ①	自然的特徴から見た地域、地形、地勢について	①グループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。 ②学んだ表現を用いて、グループで協力してプレゼンテーションができる。		
	MAINSTREAM II Part 5 Lesson15~16 言語	エッセイライティング エッセイの構成 修辞疑問 譲歩表現 複数の主旨 列挙表現 強い主張	①エッセイの構成を考え、自身の意見・主張を明確にできる。 ②学んだ表現を用いて、論理的な文章を書くことができる。 ③英語の基本となる主語述語の関係を見抜くことができる。	1 学期期末考査	ABCD F
	Navigator 第12章	主語と述語動詞の一致	③疑問文・否定の構文を理解できる。		
7	Navigator 第13~14章	疑問文・否定			
	MAINSTREAM II Part 6 Lesson 18~19 言語	クリエイティブライティング 創造的な英文を書く 書くことの楽しさを味わう	①エッセイの構成を考え、効果的に資料を用いることができる。 ②学んだ表現を用いて、論理的な文章を書くことができる。		
	Research ② 言語	世界の文化の紹介	①グループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。 ②学んだ表現を用いて、グループで協力してプレゼンテーションができる。 ③英語の修辞用法各種を用いた構文を理解できる。	1 学期期末考査	ABCD F
10	Navigator 第15~16章	語順・省略・強調・話法			
	入試英文法演習（10~1月）	入試問題演習			
11	Case study ① 言語 Case study ② 言語 Case study ③ 言語	門限について アルバイトについて カンニングの防止について	①グループワークに積極的に参加し、意欲的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。 ②学んだ表現を用いて、グループで協力してプレゼンテーションができる。		
12	Research ③ 言語	音楽のジャンル			
1					

※ 評価の観点①は関心・意欲・態度、②は表現の能力、③は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。